

特別賞(快適ネットワーク賞)

都市計画道路 下知伊野線整備事業

(表彰対象者：高知県高知土木事務所)

表彰の理由

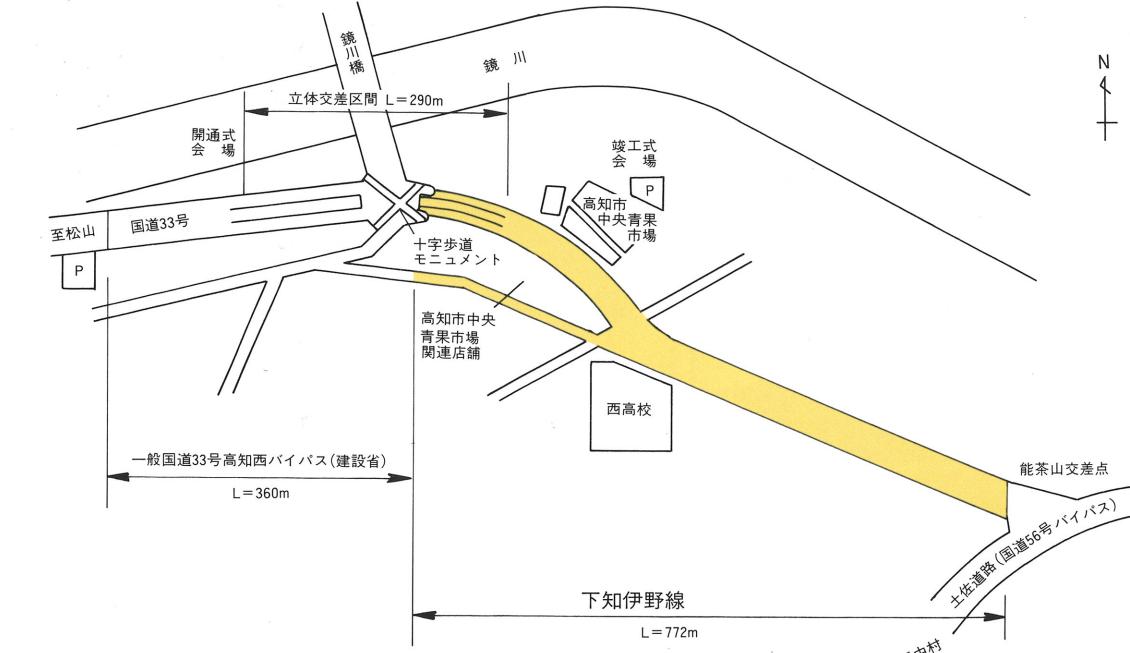
高知市の西の玄関口として、国道33号の拡幅工事と合わせ整備することにより、慢性的な交通渋滞の解消に貢献した。
また、実施に当たってカラー舗装等により表面修景を行うなど周辺環境に配慮したデザインにより、都市景観形成に貢献した。

事業のあらまし

この事業は、国道33号と国道56号のバイパス（土佐道路）とを結ぶ市街地環状道路の役割として、また、国道33号の鏡川橋付近は、高知市内に入る車で混雑が激しく、慢性的な交通渋滞に陥り早急な解決が望まれていた。このため高知市の最重点事業として昭和63年より着手し、この街路と国道33号（直轄施工）の拡幅とを一体的に整備することにより交通渋滞を解消したものである。

- 延長：772m
- 幅員：24m
- 事業費：4,865百万円
- 事業実施期間：昭和63年4月～平成3年3月

国道33号立体交差部の全景。



十字歩道橋よりの展望（デザイン照明）。



カラー舗装及び統一された照明。



十字歩道橋

事業遂行上の工夫

県都高知市の西の玄関口としてふさわしく、建設省・高知県・高知市が一体となって、カラー舗装、デザイン照明をはじめユニークなスタイルの歩道橋やモニュメントを配するなど、都市の新たな景観形成に配慮した。